

～先生のおすすめ本～ その5

宮島 先生

『夢をかなえるゾウ』
水野 敬也/作

コミカルに物語が進んでいく自己啓発本です。
数々の成功者の実体験が紹介されています。
中学生でも読みやすく、おもしろい内容です。
まずは、“やってみる”ことが大事!!

小澤 先生

『ツバキ文具店』
小川 糸/作

高校を卒業して以来、8年ぶりに故郷の鎌倉にもどった鳩子。文具店と代書屋を継ぐことになる。様々な人の思いをすくいとり、文字にして相手に届ける。
手紙の大切さを感じ、心がホンワカする一冊です。鎌倉にも行ってみたいくなりますよ。

中園 先生

『あなたが母親の手料理を
食べられる回数は、残り328回です。』
うわの
上野そら/作

ある日突然、不思議な数字が見えるようになった主人公は、母親の手料理を食べるごとに回数が減ることに気付きました。数字がゼロになったらどうなるのか？
日々、何気なく過ごしていることがとても大切に感じ、改めてその時を大事にしようと思える作品です。短編集なのでとても読みやすい本です。

菊地 先生

『必修すぎる文学作品を
だいたい10ページぐらいの漫画で読む』
ドリヤス工場

タイトル通り、教材で使われているような気難しそうな本が簡略化されています。1冊で20作品以上収録されているので、興味をもったものから原作を読むのも良いと思います。
他に「定番すぎる・・・」と「有名すぎる・・・」もあります。

酒井 配膳員さん

『ひかりごけ』
武田 泰淳/作

極限状態におかれた時、命を守るために犯した罪を人は裁くことができるのか。実際の事件を基に描かれたこの小説には、人間の生や死、罪について色々と考えさせられます。
死が現実的でない元気な時にこそ、読んで欲しい本です。